

高松信用金庫（蓮井明博理事長）は、昨年12月25日に穴吹興産株（穴吹忠嗣社長）が発行する「無担保私募債（同金庫の保証）」を単独で引き受けた。発行（引受）額は三億円。発行期間は五年で、満期一括償還。事業資金に充てられる。

人工知能（AI）開発最前線

ミロヴィーナスグループが第二章へ

「明日の株価は上がるか、下がるか」
理論上の確率は半々だが、勘ピューターで50%的中させることは容易でない。

人間の知能や勘がだめなら、コンピュータを使った人工知能（AI）にできないものかと、世界に名だたる大企業や投資ファンド、大学等が資産運用を目的とした人工知能開発を進めているのはご存じの方も多いだろう。

昨年本誌では、AI開発・テストに取り組むAIASSET株（東かがわ市）を紹介。記事掲載後も定期的にジャッジの中心率、勝率の経過報告を受けてきた。

同社の経営母体は㈱ミロヴィーナスグループ（小西覚社長）。

90年代から2009年に健康食品部門をM&Aで売却するまで、健康食品分野で一時代を築いた同社は、M&A以降グループ会社の資産運用というマーケティング事業に活路を見いだすべく人工知能開発に注力。

当初計画通り5年間の開発期間を経てAIが完成。昨年2月初旬から実用化に向けたテストを継続した結果、12月までの11カ月間で「予想の中心率七〇%超、損益パフォーマンス四〇%超」という実績を確認した。

約1年間の試験運用の実績から実用レベルに達したと判断、今月より本格稼働をスタートしている。

ただリスクはゼロではない。リスクを負いながらも、中期で見ると確実にリターンを取れていることが本格稼働を後押しした。

為替や米国10年債利回りなど複数金融指数でデータベースを構築し、日々コンピュータに学習させている。人工知能分野で国内トップレベルにあるSEの協力により開発したAIが、過去二千日の指数を分析し過去を学習、翌日の日経平均株価の上げ下げを予測する。



本社ディーリングルーム

そのジャッジをもとに、日経平均株価に連動したファンド商品の購入と換金を、取引実績のある地方金融機関でおこなっている。

開発当初は半信半疑だった金融関係者も、高パフォーマンスを計上している同社AIへの関心を高めている状況だ。



現在、金融指数のバランス比の異なる8台のAIソフトが稼働中。ソフトによりばらつきはあるものの、平均すると前出の的中率、損益を叩き出している。

「商品流通から金融へ」
時代の変遷にあわせ進化する地方の一企業グループが踏み出した新たな一歩。今後もAIを追跡していきたい。

さぬき映画祭2015を開催

昨年、金融指数の株価変動が激しく、10月末には日銀が追加緩和を発表し株式市場は大きく揺れ動いた。その環境下で、月平均利回りが約四％というパフォーマンスを計上していること、さらにAIというものが現実ここまで開発されたということに驚きを隠せない。

「演劇&映画祭 人狼ザ・ライブ プレイングシアター」(2月13日〜15日公開)「トクてんこ盛り映画祭 水曜どうでしょう」(2月19日・22日公開)「アイドル映画祭 幕が上がる」(本広監督最新作 ももいろクローバーZ主演 2月21日公開)など、演劇や舞台、トークが豊富に盛り込まれた内容に仕上がっている。

映画祭ではサポーターを募集しており、金額はお手頃な五千円コースから百万円コースまで幅広い。

サポーターには、映画鑑賞引換券や公式パンフレット贈呈、映画関係者の交流会参加(*参加料は別途等の特典があり、内容は金額により違う。

今年の映画祭で上映された、さぬき市津田の松原を舞台にした「恋とオンチの方程式」も、1月17日(土)に、香川から先行上映。

2015年は、香川のエンターテイメントに幸先のいい幕開けになりそうだ。